







令和元年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
1	『元旦の朝日に映える岸和田城 (Kishiwada Castle was illuminated in the morning sun.)』 平成31年1月1日。7時41分。朝日に照らされた岸和田城。20年間、(公財)大阪府国際交流財団のホームステイ担当として登録している。これまで多くの外国人の方が我が家に来た。必ず案内するのはここ「岸和田城」と「だんじり会館」とてもよろこばれている(^_^)岸城神社を出て左手に岸和田高校がある。その近くのお堀から撮影した。朝日に映えるお城はなかなか風情があり神々しく感じられ、思わずシャッターを切った。(56歳女性)	
2	『春木川緑道にて河津桜と南海電車』 春木川緑道を散策していると河津桜が満開でした。通りがかりの人と写真を撮り、春の訪れを感じる散歩道でした。(67歳女性)	
3	『紀州街道(小門・貝源)のまちなみ』 紀州街道では、色々な時代の建物を見る事ができて散策が楽しめるまちなみです。だんじり祭りの時とは違う雰囲気がとてもお気に入りです。(67歳女性)	
4	『岸和田城から岸和田港を望む』 岸和田城の天守から岸和田市内が一望でき、天気の良い日は明石大橋を見る事もできます。見える景色は違うけど岡部の殿様も同じ様に景色を楽しんでいたのかも知れませんね。(67歳女性)	
5	『上町の五差路 通学路』 小さい頃、よく遊んだ上町の五差路。中学校への通学路でもあります。この右側に大きな木が2本、友人が合流するまで、木の下で待って雨宿り。左は鉄工所、鉄工所なのに、夏にはだんじりのコマを削っています。学校の帰りによく立ち寄りました。前の白い建物は食堂かな? お好み焼き屋さんやったかな? その数軒向こうには、旧上町の町会館があったんです。だんじりの笛や太鼓の音がよく漏れてきました。よく遊んだ同級生、どうしているかな。懐かしい記憶を確認して散策終了です。この場所は、自宅から数百メートル。車では通りすぎてしまいます。何年振りかで歩いて、学生時代を思い出しました。(57歳男性)	
6	『「人類の調和と平和」の”モニュメント”』 中央公園のほぼ中央にあり、ウォーキングコース内にある『人類の調和と平和』のモニュメントです。その時新元号が脳裏に強く浮かびました。この時期に、こころに残る”まち景観”の応募があり、248個目となる令和の時代に期待を膨らませて応募した次第です。一人でも多くの人に、この『人類の調和と平和』を心に留めていただき令和の時代が戦争のない過ごしやすい時代でありますように願う次第です。(76歳男性)	

令和元年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
7	『泉光寺の桜』 岸和田藩主岡部氏の菩提寺として有名な泉光寺。歴代藩主の五輪塔や、門前を彩る桜が美しく咲き誇る印象深い場所です。(56歳女性)	
8	『彩り溢れるおもてなし紀州街道(八幡町)』 八幡山公園前の紀州街道沿いに、地域の人々により手入れされた色とりどりの花々が咲く花壇があります。道行く人々をおもてなしするような花々が印象深いまち景観だと思います。(45歳女性)	
9	『十六軒長屋のあるまちなみ』 蛸地藏商店街から一本入ったところに十六軒長屋が連なる町並みがあります。大正時代に建てられた長屋住宅は今も大切に使用されており、地域の歴史と趣きを感じるまち景観だと思います。(45歳女性)	
10	『長光寺から望む内畑のまちなみと神於山』 内畑町の高台にある長光寺からまちなみと神於山が一望できます。坂の多い地形と連なる瓦屋根が特徴的で、神於山の稜線が美しくこころに残る景観だとも思います。(45歳女性)	
11	『夜疑神社の参道(中井町にて)』 夜疑神社は地域の人々の信仰の対象として、古より守り継がれています。その境内へまっすぐ続く参道には、10月祭礼時に八木地区の宮入のためだんじりが連なる光景はまさに圧巻です。時代が流れ参道の街並みが変わっても人々にはいつまでも変わらぬ景観だと思います。(45歳女性)	
12	『歴史を感じる寺町筋』 岸和田駅から商店街を通過して脇道に入ると、由緒あるお寺が連なる寺町筋と言われるまちなみに出会いました。明智光秀の肖像画で有名な本徳寺など市街地とは思えない静寂と歴史を感じる佇まいが印象的な景観です。また、道路には隠し文字がありますので探して見て下さい。(45歳女性)	

令和元年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
13	『葛城おどり』 国、及び各地方自治体、全国津々浦々の集落も少子高齢化により、今や限界自治体や、集落が広がりつつある。これに伴い、古くからその地域・集落に伝わる伝統芸能も、衰退、また消えゆく運命のものもある。当市の、葛城山麓の真下にある「塔原町」（戸数三十五戸）に伝わる「葛城おどり」無形文化財を紹介したい。盆おどりの一つで、毎年八月十四日、町の中心地の「弥勒寺」の境内に於いて、音頭（車おどり・大山おどり）に合わせ、横笛、舞人は、稚児が花笠を被り、鼓を打ち鳴らし、おどるのである。最盛期は、稚児も十数人居たという。現在は、僅か三名と危機。保存会により、その保存に必死ということである。 稚児が跳ね 鼓やさしき 笠おどり 俳号 赤 心子（79歳男性）	
14	『土生町けやき並木』 土生町の中島池と孟正寺池の間を通るけやき並木の道。年々、枝が生い茂り、緑豊かな美しい並木道に成長しています。また、ここは、池越しに、東は和泉山脈、西には岸和田市街、淡路島、六甲山そして神戸の街が見えるとても見晴らしの良い場所です。近くに、お殿様の別荘でもあった泉光寺や明治天皇の駐蹕碑があるのもうなずけます。それぞれの時代には、ここからどのような景色が見えていたのでしょうか。（64歳女性）	
15	『牛滝川』 小学校でも中学校でも、ここはマラソンコースでした。この場所に来ると嫌いだったマラソンの思い出が一番先に浮かんで来ますが、ゆっくり川沿いを歩いていると他の楽しかったことも次々と思い出されます。春には中学校の桜も満開になり、近くの畑はレンゲ畑になります。昔から変わらないこの場所が私のこころに残るまち景観です。（23歳女性）	
16	『十六軒長屋』 この長屋は大正時代からあり、今も現役でこの場所を見守り続けているそうです。ずっと岸和田市に住んでいましたが知りませんでした。市民より観光で岸和田市に来られる方のほうがよく知っているのではないのでしょうか。長屋がずらっと並ぶこの場所は実際見てみると圧巻です。（23歳女性）	
17	『夕暮れの北阪』 あまり知られていない神社だと思いますが、すごく景色がよく夜景も見るので自分だけのお気に入りの場所です。また、どういう経緯でこの神社が建てられたのか知りたいです。そして近くには同じく景色のいい北阪町観光農場があり秋から冬にかけてみかん狩りをするので少しくPRになれば嬉しいです。（21歳男性）	
18	『旧牛滝街道 一本松の跡』 ずららん通りから府道春木岸和田線へ進むと道標があります。その昔、この道は牛滝街道と呼ばれ、シンボルとなる一本松が植えられていたそうです。今は住宅街になり景色が変わってしまいましたが、松の木陰で休む人々が語らう光景が目浮かぶこころに残るまち景観です。（51歳男性）	

令和元年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
19	『桜と相川のまちなみ』 相川から塔原へ向かう府道のカーブを抜けると来訪者を迎えてくれる大きな桜と相川のまちなみが印象的なまち景観です。（45歳女性）	
20	『時を越えて（春木中学校の赤レンガ）』 春木中学校に数百メートルに及ぶ赤レンガの塀があります。その昔、東洋のマンチェスターと言われた大阪の一大工業地帯の一角を担った岸和田の紡績工場跡の名残りが今も感じられます。百年を超える時の流れとともに通学する児童や地域の方々をこれからも見守り続けてくれることでしょうか。（51歳男性）	
21	『府道堺阪南線のまちなみ』 府道沿いには様々な時代や様式の建築物が建ち並び、まちなみの景観を特徴づけています。なかでも正覺寺のシンボルとなっている桜は印象深いです。また、数々の名建築を手がけた村野藤吾が設計したモダニズム建築である池田泉州銀行も立地するなど岸和田を代表するまち景観だと思います。（51歳男性）	
22	『並松町 紀州街道』 並松町には紀州街道がS字に蛇行するような形状の場所があります。その昔、並松には甲賀忍者の侍が住む町があったそうで、この形状も岸和田城の防衛上重要な役割を担っていたそうです。時代が移り変わり、町並みは変わりましたが、この道が歴史を今に伝えてくれる印象深いまち景観だと思います。（51歳男性）	
23	『本町のまちなみ』 歴史を感じる町家建築が建ち並ぶ本町の紀州街道は、岸和田らしさを印象づけるまち景観だと思います。岸和田祭礼のときも良いですが、日常の静寂な雰囲気がかこころに残るお勧めの景観です。（51歳男性）	
24	『孫たちの春休み（成長の道）』 ♪咲いた咲いたチューリップの花が ならんだならんだ赤白黄色 どの花見てもきれいだなあ♪チューリップの花言葉は“思いやり”。毎年、八木小学校運動場の一角に（30号線沿いの通学路歩道にそって）きれいに咲かせてくれている。ホッとしている孫達の春休み。やがて4月にはヒカピカの一年生。この道は姉妹仲よく。生命を大切に心。平和の心。正義の心。勇気の心。友情の心。育む成長の道♡（71歳女性）	




令和元年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
25	『我青春の思い出』 私は今年70才になります。 40年前岸和田城の近くに職場があり、日頃のストレスや悩みを親しい友人と岸和田城を見ながら話し合い、日が暮れる頃近くの赤ちょうちんで一杯飲み、疲れをいやしたものです。 空高くそびえる岸和田城を見て当時を思い出しました。(70歳男性)	
26	『久米田寺灯ろう会』 毎年8月20日、久米田寺境内にて久米田寺灯ろう会が行われます。 燈籠が境内に整然と並び、幻想的な雰囲気を感じながらご先祖様への感謝を伝えます。(56歳女性)	
27	『八阪町にて秋の実り』 稲穂が黄金色に輝き、街のあちこちで秋の到来を実感します。 今年もおいしいお米が食べられる喜びに感謝です。 (56歳女性)	
28	『カモさんに惚れて』 提出作品は2019年1月3日の撮影です。 このカモさんは人が近付くと駆け寄ってくれますよ、又水面からも上がってくれ群れをなし鳴き声が響きますね。カモさんとの遊びは楽しく、カモさんに惚れますよ！でも、池への滑り、カモさんへの接触には注意が必要です！(79歳男性)	
29	『町内の夏祭』 撮影は東ヶ丘町2019年町夏祭りで、自治会、老人会、子供会が主体で開催、主体活動団体が、楽しく各種食事作りを行い、町民の多くが参加し、食事会、おしゃべり会、踊り会、歌発表会等、賑やかに開催され、また、子供たちも楽しい参加、金魚すくい等の遊び場も多数開催。町民担当の「花火大会」も最後に行われました。参加子供女性の和服姿にはほれほれしますね！！(79歳男性)	
30	『街かどの、語らい』 掲出作品は2019年9月6日に撮影、対象物件は三田町の女性活動組織（なかよし会）の皆様の傑作作成（人体案山子）、2019年5月に作成現地に設置、2019年9月初め新規衣装取り換え実施、華やかになりましたね。この作品は当農地に15体が5か所に分かれ配置設置。作品案山子からも通行、農作業者に声かけ語らい、楽しい農作業やたのしい交友暮らしを呼びかける、拝見閲覧者も声かけ話し合いの楽しい交流を作りあげる活動を盛り上げると明るく、こころコロコロ、子供たちも人生に高めの、慶びが天空に飛び立つ社会がひろがるでしょう。街かどの語らいは人々のこころを豊かにしますよ。(79歳男性)	

令和元年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
31	『初秋のアジサイ風景』 初秋のアジサイ風景は2019年8月30日撮影です。 作品の初秋アジサイは春、夏のアジサイにも負けずこころおどり、アジサイ園に入ってみたく、お体に動きの感動をあたえてくれますよ、ぜひ景観にいきましょう。(79歳男性)	
32	『春木だんじり祭り・大漁旗』 春木地区の紀州街道にてだんじり祭りを見学しました。 子供たちが大漁旗を持って曳行に参加。 笑顔が溢れ、祭りを楽しんでいる光景が印象的でした。 (56歳女性)	
33	『長屋門坂—阿間河滝町』 一見武家屋敷街のような長屋門の街並み。 道路の舗装を工夫すれば時代劇のロケ地として売り出せそうですが、岸和田市には他にも積川旧牛滝道などロケ地になりそうな道が沢山ありますね。 (71歳男性)	
34	『かじやまち通り』 商店街が寂れたあともまとまりがある街並みを残そうと様々な工夫がなされた特徴のある通り風景になっています。 昔のふんいきが残っているのも好きです。(71歳男性)	
35	『北町の寺町通り』 台風一過の朝の様子。 パンチのある寺町らしいスカイラインが好きです。 未永く残してほしい、岸和田の名所です。(71歳男性)	
36	『城見橋への道—宮本町』 城見橋を渡って岸和田駅へ向かうときは、必ずこの道を通ります。帰途もこの道です。 岸和田に住む誇りを感じる道ともいえます。(71歳男性)	

令和元年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
37	『十六軒長屋通り一岸城町南』 60年前城内小学校への通学路のひとつでした。 同級生も何人か住んでいましたが皆どうしているのかな？ 全長120M、大正11年（1922）に建てられた質の高い和風長屋は城内に残る価値ある風景といえるでしょう。（71歳男性）	
38	『マンサード長屋通り一岸城町南』 100年近くたって改装もみられませんが、当時の高級洋風長屋の様子がみられます。 子供の頃中へ入れてもらうのが楽しみでした。 施行者は岸和田高校旧校舎（RC）や十六軒長屋も請負った中筋組との事。（71歳男性）	
39	『だんじり会館裏 武家屋敷道一岸城町南』 右手は山岡家住宅、正面は武道館、年中静謐なこの道は、現在お城とだんじり会館をつなぐ役割を果たしている。 山岡家には岸和田の音楽教育の先駆者宮澤先生主催の岸和田少年合唱団の練習場があった。（71歳男性）	
40	『武家屋敷へび道一岸城町北』 城の鬼門方向に位置し香室坂（旧刑場跡）につながるこの道の歴史は古い。 田代家住宅の塀は曲がりくねり邸内のうっ蒼と茂る木々に日を遮られ、昼でもうす暗いこの道を近所の子供たちはへび道と呼んでおそれている。（71歳男性）	